

弁護士による小学校4年生及び中学校1年生向けいじめに関する授業アンケート（抜粋）

【気づき・決意】

校種	性別	感想
中学校	女子	相手の基準でいじめかどうか決まるのは確かになと思いました。いじめを見ている人が一番止められる力があるので、もし、いじめをしているところを見かけたら、注意できるようにしたいです。
中学校	女子	今まではいじめを見ても他人事にしていました。自分がまきこまれたら怖かったからです。今回の話はすごく心に残ったので自分はイジメを絶体にしないときめました。
小学校	女子	いじめは、止める人とか、心のコップから水(ストレス)を抜いてくれる人がいないと自さつとか、入院とかしちゃうのが、一番こわいと感じた。
小学校	女子	べんごしさんがいっていたのでびっくりしたのが、メールだとひょうじょうがみえないから強いことはいってしまうのがおどろきました。
中学校	男子	いじめを受けた子が自殺してしまった話で、いじめる側がいいと思っていともいじめられる側が「いやだ」と思っていたら絶体やってはだめだという話。見ている人も関係はないと思わずその人の支えになるような行動をとるということが大切という話が心に残った。
小学校	女子	わたしはべんご士の話聞いて、いじめはちょっとくらいでもだめなんだと気がつきました。
小学校	女子	いじめってじぶんがおもいこんだらいじめって始めてきいたからきずいてよかった。
中学校	女子	いじめはいじめる人だけが悪いんじゃなく、周りで盛り上げる人と見ている人も勇気を出して大人に相談することがとても良いことだと分かった。

【疑問・感想】

校種	性別	感想
中学校	女子	私はいじめるがわは悪いけどそれ以前に理由をみちびきだすのが大切だと思いました。いじめられる人は悪くない、絶対に、とっていたけれど理由が分からなければ100%いじめてる人が悪いとは思えないからです。
中学校	男子	「いじめ」という言葉がひっかかります。なぐったり、けったり、悪口をいったりするのは、はなしにもあったとおり、すべて法にふれているもので犯罪なのに「いじめ」といってしまうとやわらかくカモフラージュしてしまっている気がしました。例えば町中で知らない人になぐられたとしてその事例を「いじめ」といえるのかということです。
中学校	女子	いじめの定義がよくわからなかった。
中学校	男子	いじめはどちらの心も傷つけることを分かったけど、きっとそれでもいじめは起こると思う。だからいじめる人も心を病んでいると考えた。

【教員意見】

感想

実際に起こったいじめの事例が子どもたちにとって、衝撃的だったみたいです。

子ども達にとって、いじめについて真剣に考える良い機会になりました。

実際にいじめをした先にどんな未来があるのかを具体的に教えてもらうことは児童にとってとても大切な経験だったと思う。

実例を踏まえたお話だったため、子どもたちのいじめに対する意識が高まった。

基本的人権の尊重について子ども達でもわかりやすいよう具体的な事例も交えて説明していただいた。(特に、スキ、キライはほかの人に迷惑を
かけないからOK。傷つける等は相手が嫌な思いをするからダメ。) が分かりやすかったです。

「いじめられている人は悪くない」ということがとてもよく伝わる内容だった。具体的な例を挙げながら子ども達に考えさせたり、説明したり
してくれたので大切なことが良く伝わっていたと思います。

授業に対する意見

子ども達からいじめについての感想を授業内で聞いていただいても良いかなと思いました。また、いじめを受けた側、行った側のインタビュー
や肉声を紹介しても…もしできればですが…

出来れば、視覚的に見せてほしかった。(耳だけの情報ばかりだと、どうしても児童の集中が続かない。)

いじめる側の気持ち、それでも許されなことを考えることもできれば良いと思いました。